

## 育苗は終盤！健苗を適期に田植えし初期生育を確保！

東北地方の向こう1か月の気温は高い見込みです。(仙台管区気象台、5/7発表)。

**苗の伸びすぎに要注意。**強い低温がない限りは夜間もハウスを開放し、外気に慣れさせましょう。

### 適期の田植えと適切な管理

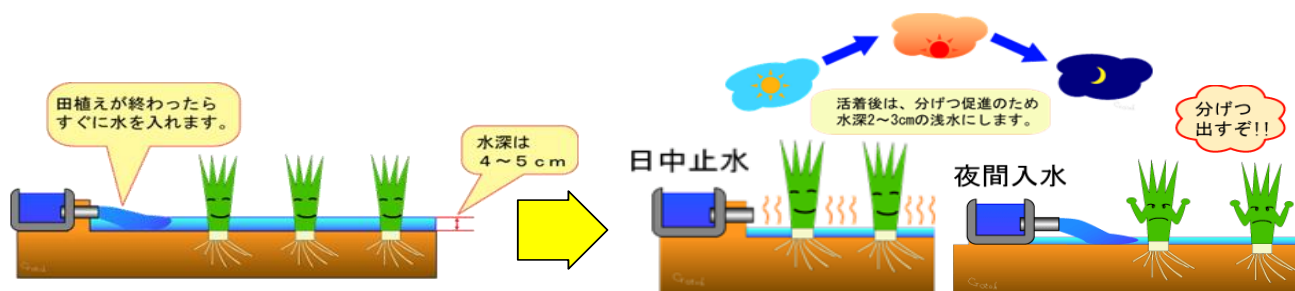
田植えの適期は5月15日～20日頃です。【つや姫・雪若丸の田植えは5月20日まで】

#### 田植えは天気の良い日に適切な栽植密度で

- 田植え作業は、低温や強風の日をさけ、天候の良い日を選んで行いましょう。
- 栽植密度は**70株/坪**、株当たり**4～5本**を目安とします。
- 植付け深は**3cm程度**を基本とします。(深植えは分けつの発生を抑制します)

#### こまめな水管理で初期生育を確保

- 田植え直後は、4～5cm程度の水深で活着を促進させます。活着後は、2～3cmの浅水管理とし、日中止水・夜間かんがいの保温的管理で、分けつの発生を促進させます。



### 病虫害防除・雑草防除のポイント

#### 箱施用剤の適正使用と補植用取置き苗の速やかな除去

- プール育苗の場合は、田植え前の落水後に箱施用剤を散布します。また、育苗ハウス内で野菜等の後作を予定している場合は、苗をハウスの外に出してから箱施用剤を散布します。
- 補植用の取置き苗は、いもち病の伝染源となります。補植作業は田植え後1週間以内に行い、**取置き苗は速やかに処分**しましょう。

#### 除草剤の適正使用で効率的な雑草防除

- 雑草の葉齢が進むと、除草剤の効果が十分に発揮されない場合があります。除草剤の使用基準をよく確認し、適切な使用時期の範囲内でも、早めの散布を心掛けましょう。
- 粒剤、フロアブル剤は、水深3～5cm、ジャンボ剤、豆つぶ剤、250グラム粒剤は、やや深めの水深5～6cmに湛水し散布します。
- 除草剤の効果を高めるとともに、河川への成分流出を防ぐため、**除草剤の散布後7日間は止め水とし、田面を露出させない**ようにします。田面が露出してしまった場合は、ゆっくりと足し水を行います。散布後7日間以内での強制落水やかけ流しは厳禁です。

※箱施用剤と除草剤(1キロ)の取り間違えに要注意。散布前にラベルをよく確認しましょう。

### 春季農作業事故防止啓発運動 展開中！ トラクターの事故に要注意！

- 安全確認と予防対策(ブレーキ連結等)で公道でのトラクターによる事故を防ぎましょう。
- 熱中症にも要注意**。こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった作業を心掛けましょう。